

大手前だより

金蘭会 — 現会員と未来の会員のために —

- 記念事業の準備進む 他……………1
- 会長退任・新任のご挨拶……………2
- 校長退任・新任のご挨拶……………3
- 副会長より、会報の編・訳校対策等について……………4
- 同窓会誌(国交定評制)・国際プログラム……………5
- 会報報告書・金蘭会総務……………6
- 予算・決算報告書……………7
- 金蘭会ホールご案内……………8・9
- 新役員・評議員一覧……………10
- 記念クルーズお楽しみ、各委員報告……………11
- 学年会だより……………12
- 支部この一年……………14
- クラブOB・OG会だより……………15
- 台詞劇入、学年同窓会情報サポート、英語能力……………16

明治19年(1886年)、母校は大阪で最初の府立女学校として開校され、その後場所移転・名称変更等を経て、大正12年(1923年)に大手前の地へ移転し、大阪府立大手前女学校と称することになりました。そして昭和23年、府立北野高等学校との間で職員、生徒の交流を行い、男女共学の「大阪府立大手前高等学校」としてスタートいたしました。

歴史を振り返る 母校と金蘭会

金蘭会記念クルーズ
台湾一周 来年五月

来年5月8日、16日の9日間、大型外国客船ダイヤモンド・プリンセス号(11万6千ト)で行く「魅惑の台湾周遊と鹿児島」を予定しています。申込み締切は、今年の9月末です。多数のご参加をお待ちしています。(11頁に関連記事)

平成27年度定時評議員会 第1回理事会
新体制へ移行—会長交代へ—

平成27年4月19日、母校視聴覚教室において、平成27年度定時評議員会が開催され、定例の議題のほか、任期満了に伴う役員改選も行われました。

評議員会を中断して行われた第1回理事会において、会長を2期6年務めた安橋興二

◆◆◆◆◆

創立間もない頃から、諸先輩が行ってこられた私立女学校創設や奨学金制度、慈善事業などの精神は、現在の母校教育支援や国際プログラム賞の授与などの活動に引き継がれています。

創立間もない頃から、諸先輩が行ってこられた私立女学校創設や奨学金制度、慈善事業などの精神は、現在の母校教育支援や国際プログラム賞の授与などの活動に引き継がれています。

終身会費の額決まる 5万円

終身会費の額について、「5万円」とすることが、平成26年度第6回理事会で決定されました。

なお、この制度を利用された場合でも、賛助金等はいずれも受け付けていますので、ご協力よろしくお願いたします。

詳しくは、16頁をご参照ください。

◆◆◆◆◆

この制度には、匿名希望の金蘭会会員からの寄付金を基にした「金蘭会海外派遣支援基金」から、220万円を旅費補助として支援しました。

なお、今年度は、米田スタンフォード大学への派遣が予定されています。



ケンブリッジ大学の数学橋

母校創立 130周年 金蘭会創立 125周年

記念事業の準備進む

来年(平成28年)は、母校創立130周年、金蘭会創立125周年を迎えます。

諸先輩方のご努力により培われた輝かしい歴史を振り返り、さらに未来へ向けて新しい歩みが始まることを祝して、式典や祝賀会等の各種記念行事が計画されています。

来年十月五日(土)

式典、祝賀会・総会

平成28年11月5日(土)には、母校の記念式典が大阪国際会議場において、また金蘭会主催の祝賀会・総会が隣接するリーガロイヤルホテル(大阪)において開かれます。

その他、母校記念誌の発行、母校への記念品贈呈なども予定されています。

近年では、平成20年に、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール(SSHS)、平成22年には大阪府からグローバルリーダーズハイスクールの指定を受け、未来を担う優れた人材育成を目指した取り組みを行っています。

一方、同窓会は明治24年(1891年)8月に創立され、明治28年「金蘭会」と名付けられました。昭和14年には財団法人として認可され、同窓会活動とともに教育事業助成などを渾然一体として行ってきました。平成8年、国の指導により、同窓会と財団が分離され、更に昨年、財団は一般財団法人となり、学校教育事業の助成と教育関連事業の援助を行うことになりました。

ケンブリッジ大学で研修

母校海外研修派遣支援始まる

昨年度から発足した「大手前海外研修制度」により選抜された生徒10名と教員2名が、平成26年8月3日〜10日の8日間、英国のケンブリッジ大学に派遣されました。帰国後、金蘭会館で行われた報告会では、数学の講義受講と大学院生との交流などを通じて、数学へのより一層の興味の高まりを感じ、異文化に触れることで物の見方にも広がりが出たとの報告がありました。

会長退任のご挨拶



前会長 安橋 興二郎
(S34卒)

このたび、二期六年にわたり務めてまいりました会長を退任いたしました。
平成二十二年四月、升谷先輩のあとを受けて会長に就任いたしましたとき、私は皆さまに金蘭会運営の基本となるべき

考えとして、三つのことを申しあげました。

第一は、金蘭会の目的は会員相互の親睦・向上と母校支援であること、第二は、金蘭会はその一員であることに誇りと喜びを感じる明るく楽しい組織であるべきだということ、第三は、金蘭会には長幼の序があるべきだということ、この三つであります。

この考え方を基本に、微力を尽くして参りましたが、会員の皆さまや役員・評議員の皆さまに支えられ、そのお蔭で何とか今日を迎えることができました。本当にありがとうございます。皆さまに

心から厚く御礼申し上げます。

その間、金蘭会創立百二十周年を迎え、記念事業の一つとして金蘭会館にエレベーターを設置いたしました。このとき、会員の皆さまのご協力のありがたさ、その力の偉大さを痛感いたしました。

日常の金蘭会活動として、栗山前校長先生のご理解もあり、母校支援もより充実したものとなりました。また、金蘭会セミナーをはじめ、バソコンスクール、各種の同好会活動も活発化しており、金蘭会クルーズも定着しつつあります。これらの活動の状況は、広報の二本柱である「W E B金蘭会」と「大手前だより」で、こ

担当の方々のご尽力により、適時・的確に会員の皆さまにお伝えできるようになっております。誠に喜ばしい限りであります。

後任の石田新会長は、温和な性格と優れたリーダーシップ、高い識見を兼ね備えた方であります。その強い使命感と責任感をもって、金蘭会活動に取り組まれるに違いないと確信しております。

新会長を迎え、金蘭会がますますの発展に向けて、会員の皆さまのさらなるご支援・ご協力をお願い申しあげまして、ご挨拶とさせていただきます。

りを感じて頂けるような会づくりに努力して参ります。

同時に、金蘭会の継続的な発展を目指すには、次世代への引継ぎ・拡がりが必要不可欠です。そうしたことを意識した取り組みを進めたいと思っております。

来年は母校創立130周年・金蘭会創立125周年という節目の年に当たります。母校記念式典のほか、母校記念誌の発行、金蘭会祝賀会・総会、記念クルーズ等、種々の記念行事が検討されていますが、その具体的な準備はこれからであり、今年度から本格化します。会員の皆様の一層のご支援・ご協力をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

会長着任のご挨拶



会長 石田 良一
(S39卒)

金蘭会会員の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
本年四月の第一回理事会において、会長に選任されました石田良一(S39卒)です。伝統ある金蘭会において、歴代錚々たる諸先輩が務めてこられた

会長職を任せられましたことは、榮譽であると同時に身の引き締まる思いで一杯でございます。副会長として、留任頂く岩田和歌子氏(S16卒)と新たに就任頂く野口幸一氏(S54卒)のサポートのもと、金蘭会の発展のために精一杯務めますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

安橋前会長には、二期六年にわたり、優れたリーダーシップを発揮され、金蘭会の諸活動はもちろん、会則をはじめ諸規約の整備や制度の改善・改革に意を注がれ、金蘭会の基盤強化に大きな功績を挙げられました。改めて敬意を表するとともに御礼申し上げます。

さて、金蘭会運営にあたっては、概ね従来の考え方を引き継いでいきたい

と思っております。第一には、金蘭会は同窓会がベースですから、会員相互の親睦・向上を図ること、そのためにも明るく楽しい組織運営を目指します。第二には、これが金蘭会が他の同窓会とは一線を画す特徴であり誇りでもあります。母校としっかり連携をとって、次世代を担う後輩の人材育成のために、母校支援活動を継続していくこととであります。第三には、金蘭会は百才超の方から今年入会された十八才の若者まで、年齢差が八十才以上もある団体です。こうした組織では、日本古来からの美徳「長幼の序」を大切にしていきたいと思っております。

こうした活動を通じて、会員の皆様

校長退任のご挨拶



前校長
栗山和之

府立大手前高等学校に校長として在職しておりました四年の間、安橋会長をはじめ、役員の方々および会員の皆様方には大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。

また、金蘭会からの在校生に対する様々なご支援に、改めて感謝申し上げます。英国交流、集中セミナー、芸術鑑賞会、高校生国際会議等、毎年継続して物心両面でさまざまなご支援をいただきました。さらには、昨年度から「大手前海外研修」を立ち上げていただき、そのご支援により生徒十名を英国ケンブリッジ大学への短期研修に参加させることができました（本年度は米国のスタンフォード大学を予定しています）。

学校の校是は「英姿颯爽」であり、「つよき信念とたかき理想」を持った生徒を育成していくことをめざしております。「英姿颯爽」には、容姿が爽やかで、立派で凛々しく、常に前向きで活力に溢れた大手前生を育てるという意味を込めております。

近年をさかのほれば、平成五年度の理科設置、平成二十年度の国からのスーパーサイエンスハイスクール指定、平成二十三年度の文理学科設置・府からのグローバルリーダーズハイスクール指定など、その都度の飛躍を本校は遂げてまいりました。そして、現在、近年にもまして学校としての充実期を迎えていると確信しております。

校長着任のご挨拶



校長
柴浩司

六年度（在任）の後を受け、第二十七代校長として平成二十七年四月一日に着任いたしました柴浩司です。

昨年度まで、大阪府教育委員会事務局に九年間勤務しておりました。その間に培った経験と人とのつながりを、すべて大手前高校のために活かしていく所存であります。

金蘭会会員の皆様には、常日頃から本校の教育活動に、物心両面よりご支援とご協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

今年で、創立百二十九年、そして来年度は百三十年の記念の年を迎える本校は、大阪屈指の公立の伝統校であります。平成五年に理数科を設置し、理数教育にも力を注いでまいりました。その成果もあり、平成二十年度～二十四年度に引き続いて、平成二十五年度

に文部科学省から、スーパーサイエンスハイスクール（略称SSH）に再指定され（平成二十九年まで五年間）、また、同じくSSHにおいて日本の数学教育の中心を担う重点枠にも指定され、未来を担う科学技術系人材を育てることをねらいとして、理数系教育の充実日々取り組んでいます。さらに、平成二十三年度からは、大阪府のグローバルリーダーズハイスクール（豊かな感性と幅広い教養を身に付けた、社会に貢献する志を持つ、知識基盤社会をリードする人材を育成する）ことを目的にした十校に指定されています。

今後とも石田良一会長のもと益々発展される金蘭会からのご支援とご協力をお願い申し上げます。着任のご挨拶とさせていただきます。

母校だより

◆本年度の人事異動（順不同）

（講師は含まれていません）

【退職】

栗山 和之 校長先生 ご定年

平田 善信 事務部長 ご定年

藤澤 浩之 先生（数学科）

再任用として本校へ

橋本 昌子 先生（音楽科）

再任用として本校へ

森田 浩司 先生（社会科）

大阪教育大学附属池田高校へ

志場 正成 技師

【転勤】

水山 知春 先生（国語科）

府立阿倍野高校へ

馬場 英明 先生（社会科）

府立北かわち早が丘高校へ

山口世津子 実習教員

府立北かわち早が丘高校へ

【ご着任】

柴 浩司 校長先生

大阪府教育委員会事務局

富山 俊子 事務部長

教育振興室高等学校課より

石田 眞美 先生（国語科）

府立野崎高校より

松山 寛太 先生（社会科）

新任

湖山 裕文 先生（数学科）

府立門真西高校より

武智 大喜 先生（数学科）

新任

西田 善則 先生（音楽科）

府立野崎高校より

三浦 良重 総括実習教員

再任用として本校へ

府立柏原東高校より

母校の現状

◆平成26年度 主な大学合格状況◆

大学	合格者数
国公立大	
東京大学	1
京都大学	38
大阪大学	46
神戸大学	37
大阪市大	17
大阪府大	31
他 国公立大	74
私立大	
早稲田大	10
慶應義塾大	4
関西大	134
関西学院大	84
同志社大	208
立命館大	208
他 私立大	243



垂れ幕が掲げられた母校校舎

●平成26年度 特に目立ったクラブ実績

*硬式テニス部：近畿公立高等学校テニス大会出場

男子個人シングルス

*陸上部：近畿大会出場 男子1500m、女子走幅跳

●学校説明会（中学3年生保護者・中学校教員対象）

6月20日（土）に第1回目の学校説明会が行われました。

第2回目の学校説明会は、9月19日（土）にドーンセンター

で開催されます。

詳しくは学校にお問い合わせください。

計 報

山口 時正 先生（国語）

平成二十六年五月ご逝去

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

母校支援事業

演劇鑑賞「ベニスの商人」(シェイクスピア作)

金蘭会が支援している第二十二回目の文化行事として、平成二十六年度は、10月29日枚方市民会館にて、劇団芸優座の「ベニスの商人」の「演劇鑑賞」が行われました。

＜担当の先生のお話＞

貿易商のアントニーニオーとユダヤ人金貸しのシャイロックとの対決と、若き法律家に扮したポーシャ姫との緊迫感に満ちた法廷のシーンでは、生徒たちは特に固唾を呑んでいました。また、高等遊民であるバサーニオーの親友グラシャノーとポーシャ姫の侍女ネリサとの言葉の掛け合いには、会場中が笑いに包まれました。途中休憩なしでしたが、あつという間の時間四十五分となりました。最後は、生徒代表から御礼の挨拶と花束の贈呈で幕を閉じました。

終演後に行われた交流会には、演劇部員をはじめ五十人程の生徒が参加しました。劇中の役者の方全員に参加していただき、演じた役名の紹介や声域の出し方、練習期間などを語ってもらいました。中でも驚嘆したのはシャイロックを演じ、脚本演出を手掛けた平塚さんは82歳ということ、生徒たちはそのお話に大いに感銘を受けていました。「演劇中に一番大切にしていることは何か」の質問に、平塚さんは「その役に集中することが大切」と仰っていました。また、生徒たちにも「勉強や何事においても集中が大切です」と言葉をかけられ、生徒だけでなくその場にいた教職員も心を打たれたことでした。演劇のことだけでなく人生の教訓までもお話いただき、この交流会は生徒たちにとって貴重な時間となったことでしょうか。

行事後の感想文（知的探検カード）を読ませていただきましたが、シェイクスピアは有名だが、内容は難しそうと作品を敬遠していた生徒も、すぐに惹きこまれたようでした。

また、アントニーニオーとシャイロックとちがらが正しいのか、ユダヤ人に対する偏見について注目した人も多くいました。この演劇は、まさに『千思万考』であり、それぞれの考えを大いに語り合ういい機会になったに違いありません。演劇に触れることの少ない生徒たちが、こうした重厚な演劇を鑑賞できたことは貴重であり、有意義な時間であったと思います。

文化行事

母校支援事業

国際交流事業

「英国交流について」

金蘭会が支援をしてきた英国交流は12回目を迎え、平成26年度は受け入れの年でした。

〈担当の先生のお話〉

7月7日から7月18日まで、ベングライス校から10名の生徒と2名の教員を受け入れた。前年度からベングライス校の都合でホームステイができなくなり、今回は学校近くのウィークリーマンションを借りての受け入れとなった。それ以外は、例年通り書道、音楽の箏曲、体育、英語などの授業参加、ダンス、合気道、剣道、茶道、テニス、ラグビー、サッカーなどの部活動体験に加えて、恒例の栗山校長による大阪城ツアー、生徒たちとの大阪ツアー、校内でのたこ焼きパーティーなどを企画し、両校の生徒は互いに交流を楽しんだ。

さらに、今回は広島への一泊研修旅行を実施した。7月11日、本校生徒約30名とベングライス校生



10名、両校の付き添い教員6名が学校からバスで広島を目指した。前日に台風が接近し実施が危ぶまれたが、当日は大変良い天気恵まれ世界遺産の宮島では素晴らしい景色を楽しむことが出来た。夕食は広島市内にある「お好み村」で広島焼きを食べた。宿泊は平和公園近くの広島アステールホテルであった。ホームステイは出来なかったが、この研修旅行

では両校の生徒たちが共に一夜を過ごすことができ、大変良い機会となった。

翌日は大手前高校の生徒たちが朝食

を準備した。慣れない作業のため大変だったが、各班工夫を凝らした力作だった。その後、広島原爆死没者追悼平和祈念館にて語り部の寺本貴司様より貴重なお話をうかがった。寺本様からのお話は主に8月6日の被爆体験であった。ベングライス校の生徒は本校教諭の鎌谷先生の通訳の助けを借り、両校の生徒たちは三言も聞き漏らすまいと耳を傾け、お話の後、積極的に質問がなされた。それぞれの想いを胸に生徒たちはファイルドワークに出かけた。最初に訪れた資料館では、長い時間をかけて丁寧に見学する生徒たちの姿が印象的であった。帰阪後、さよならパーティーに先立ち、本校視聴覚教室で研修旅行の成果を発表した。両校の生徒たちが英語でコミュニケーションをとりながらプレゼンテーションを準備した。本校生は心を込めた英語で、ベングライス校生の助けを借りて緊張の中堂々と発表していた。たくさん見に来てくださったっていた金蘭会の方々からもお褒めの言葉をいただいた。

金蘭会の皆様には、資金援助をしてくださったことに加え、日本での滞在先の手配等、常にご支援いただいたことに心より感謝しています。今年度は10名の生徒と2名の教員がベングライス校の訪問を予定しています。



第15回国際グリム賞 ペリー・ノーデルマン博士(カナダ)に決定

第15回国際グリム賞の選考は、海外の国際児童文学学会会員約350名、国内の児童文学関係者43名から推挙された候補者を、第一次選考委員会で4名に絞り込み、さらに、内外10名の選考委員の投票により、最終選考会で授賞候補者を決定しました。

ご本人の同意や来日の可能性などお尋ねし、カナダのペリー・ノーデルマン博士(Dr. Perry Nodelman)に決まりました。カナダで初の受賞者です。

ペリー・ノーデルマン博士は、1942年カナダ・トロント出身、米国立エール大学で博士号を取

得、国際的な児童文学及び絵本の優れた研究者であり、カナダウイニペグ大学の名誉教授です。

主要著書は「絵本のことば…絵本における語り」(1998)、「児童文学の喜び」(1992)、「隠された大人…児童文学を定義する」(2008)で、特に「絵本のことば」は、絵本研究の先進的な基礎文献として国際的な評価が高く、「児童文学の喜び」第2版(1996)は大学における児童文学研究の教科書として著名です。

さらに、英語圏の代表的な児童文学研究誌「児童文学協会誌」とカナダの児童文学研究誌「カナダ児童文学」の編集をそれぞれ1980年～1988年、2005年～2008年に行い、それらの雑誌に、児童文学理論に係わる論文や研究書の書評を数多く寄稿し、児童文学研究の発展に寄与されました。

ノーデルマン博士は児童文学作家でもあり、これまで12冊の著書がありま

す。その中で「マインドスパイラル」シリーズは、日本でも翻訳出版(あかね書房)されています。これは博士の児童文学理論の実践ともいうことが出来るでしょう。以上の業績により、今回の国際グリム賞授賞となりました。

終わりに私事で恐縮ですが、今回もちまして国際グリム賞の担当を退任させて頂くことになりました。これまでのご協力に感謝申し上げます。

(前国際グリム賞委員会委員長
S.30卒 多田 嘉孝)



会務報告書

平成二十六年年度 事業報告

一、一般事業

(1) 定時評議員会

平成二十六年四月十九日(土)
於 母校 視聴覚教室

(出席四十六名・委任状九十五名)

- ① 事業報告および収支決算承認
- ② 事業計画案および収支予算案承認
- ③ 一般財団法人金蘭会発足の件の報告
- ④ 各委員会報告
- ⑤ その他

(2) 理事会

- 第一回 平成二十六年六月 十四日(土)
 - 第二回 平成二十六年九月 十三日(土)
 - 第三回 平成二十六年十二月 六日(土)
 - 第四回 平成二十七年一月二十四日(土)
 - 第五回 平成二十七年三月 七日(土)
 - 第六回 平成二十七年四月 十一日(土)
- 〔大手前だより〕発行
平成二十六年七月

(4) 新入会員歓迎会

平成二十六年九月七日(日)
於 金蘭会ホール

(5) 新入会員百十九名・先生十三名出席 新年互礼会

平成二十七年一月十七日(土)
於 金蘭会ホール

(6) 金蘭会セミナー開催

- 第一七七回 平成二十六年四月 十八日(金)
- 第一七八回 平成二十六年五月 十六日(金)
- 第一七九回 平成二十六年六月 二十日(金)
- 第一八〇回 平成二十六年七月 十八日(金)
- 第一八一回 平成二十六年九月 十九日(金)
- 第一八二回 平成二十六年十月 十七日(金)
- 第一八三回 平成二十六年十一月二十一日(金)
- 第一八四回 平成二十六年十二月十九日(金)

- 第一八五回 平成二十七年二月 十三日(金)
 - 第一八六回 平成二十七年三月二十七日(金)
- ホームページ運営
〔WEB金蘭会を随時更新・最新情報を掲載〕
パソコンスクール運営

二、特別事業

- (1) 母校主催事業に対する援助
母校生徒の集中セミナー費補助など
- (2) 母校国際交流事業に対する援助
英国ウエールズのベンングライズ校から生徒十名受け入れ支援
- (3) 母校海外派遣事業に対する援助
ケンブリッジ大学の数学研修に生徒十名派遣
- (4) 第十五回国際グリム賞の予備選考
四名が最終選考に残る
- (5) 金蘭会推奨クルーズ
平成二十六年五月二十三日～三十一日
台湾・南西諸島方面をクルージング
- (6) 役員選出委員会設置
評議員に役員候補推薦を依頼・集計
役員候補決定
- (7) 母校創立一三〇周年・
金蘭会創立一二五周年記念事業準備
平成二十八年十一月五日(土)

- (4) 新年互礼会
平成二十八年一月十六日(土)
於 金蘭会ホール
- (5) 金蘭会セミナー開催
ホームページ運営
パソコンスクール運営

三、理事会開催予定日

- 第一回 平成二十七年四月 十八日(土)
- 第二回 平成二十七年五月二十三日(土)
- 第三回 平成二十七年七月 十一日(土)
- 第四回 平成二十七年九月 十二日(土)
- 第五回 平成二十七年十二月 五日(土)
- 第六回 平成二十八年一月二十三日(土)
- 第七回 平成二十八年三月 五日(土)
- 第八回 平成二十八年四月 十六日(土)

四、金蘭会セミナー開催予定日

- 第一八七回 平成二十七年四月 十七日(金)
- 第一八八回 平成二十七年五月 十五日(金)
- 第一八九回 平成二十七年六月 十九日(金)
- 第一九〇回 平成二十七年七月 十七日(金)
- 第一九一回 平成二十七年九月 十八日(金)
- 第一九二回 平成二十七年十月 十六日(金)
- 第一九三回 平成二十七年十一月二十日(金)
- 第一九四回 平成二十七年十二月十八日(金)
- 第一九五回 平成二十八年二月 十九日(金)
- 第一九六回 平成二十八年三月二十五日(金)

平成二十七年年度 事業計画

- (1) 定時評議員会
平成二十七年四月十八日(土)
於 母校 視聴覚教室
- (2) 「大手前だより」発行
平成二十七年七月
新入会員歓迎会
平成二十七年九月六日(日)
於 金蘭会ホール
- (3) 新入会員歓迎会
平成二十七年九月六日(日)
於 金蘭会ホール

◎予告

平成二十八年年度の定時評議員会は、平成二十八年四月二十三日(土)十四時から開催の予定です。

金蘭会組織

(平成二十七年年度～二十九年度)

監事	中川 康一	田中 明子
書記	福味 真樹紅	横幕 久治
会計	大鍛治 和美	野口 幸一(兼任)
副会長	野口 幸一	安積 香代子
会長	石田 良一	留井 恵子
総務		
	田原 由夫	田中 文
	買井 昌博	佐保 正夫
	岩田 和歌子	安積 香代子
	米田 玲子	留井 恵子
	安積 昌二	藤原 啓助
	李保 正夫	五十嵐 祥晃
	田中 宏幸	堀内 延哉
	米田 玲子	藤原 啓助
	安積 昌二	五十嵐 祥晃
	李保 正夫	堀内 延哉
	田中 宏幸	堀内 延哉
	米田 玲子	藤原 啓助
	安積 昌二	五十嵐 祥晃
	李保 正夫	堀内 延哉
	田中 宏幸	堀内 延哉

【委員会(理事)】

母校支援	田原由夫	安積香代子	留井 恵子	横幕 久治	石川 温子	山口 高弘	藤原 啓助	石川 温子	大鍛治 和美	開谷 博	米田 玲子
田中 由樹	福味 真樹紅	石明 勝子	藤井 幸一	野口 幸一	岩田 和歌子	安積 昌二	安積 昌二	石川 温子	横幕 久治	李保 正夫	安積 昌二
長田 陽子	小南 典子	藤井 幸一	江田 和夫	横幕 久治	堀内 延哉	大鍛治 和美	安積 昌二	石川 温子	横幕 久治	田中 宏幸	藤原 啓助
森田 和夫	野口 幸一	藤井 幸一	石出 純一	永島 純一	安積 香代子	堀内 延哉	安積 昌二	石川 温子	横幕 久治	田中 宏幸	藤原 啓助

平成27年度予算

一般会計 (平成27年 4月1日～平成28年 3月31日)

(1) 収入の部 単位(円)

科目	予算	備考
人会費 @5000/名	1,800,000	
年会費 @2000/名	5,000,000	
賛助金	4,000,000	@2,000/口
名簿売上		
雑収入	250,000	
寄附		
合計	11,050,000	

(2) 支出の部 単位(円)

科目	予算	備考
〔運営費〕	[2,943,500]	
事務局費	2,443,500	付記1
会議費	100,000	
庶務費	400,000	
〔一般事業費〕	[3,550,000]	
大手前だより発行費	2,500,000	
新入会員歓迎会	450,000	
IT関連費	400,000	
金庫会セミナー補助金	200,000	
〔特別事業費〕	[4,770,000]	
母校への支援	1,000,000	
母校の国際交流事業支援	1,500,000	
国際プログラム賞		一般財団法人から支出
母校の海外派遣事業支援	2,200,000	
文庫資料補修	40,000	
会員名簿整備	30,000	
〔予備費〕	[300,000]	
支出小計	11,563,500	
[当期収支差額(繰越金)]	[513,500]	
合計	11,050,000	

参考: 剰余金見込み 単位(円)

期初繰越剰余金	17,381,295
27年度収支差額	△513,500
期末繰越剰余金	16,867,795

付記1 事務局費明細 単位(円)

科目	予算	備考
運営助手手当	550,000	
データ処理委託費	100,000	
事務用品費	250,000	
通信費	220,000	
印刷費	300,000	役員・評議員名簿作成
電話料	120,000	
会館運営費	310,000	会館清掃費
払込手数料	270,000	
複合機リース料	283,500	
雑費	40,000	火災保険料
合計	2,443,500	



平成26年度決算報告書

一般会計 (平成26年 4月1日～平成27年 3月31日)

(1) 収入の部 単位(円)

科目	予算	決算	備考
人会費 @5000	1,800,000	1,760,000	352名
年会費 @2000	5,000,000	5,010,000	納入会員数延2,505名
賛助金	4,000,000	7,063,000	匿名募金490万円を含む
名簿売上		22,000	
雑収入	250,000	409,300	付記1
寄附			
合計	11,050,000	14,264,300	

(2) 支出の部 単位(円)

科目	予算	決算	備考
〔運営費〕	[2,976,600]	[2,783,614]	
事務局費	2,326,600	2,126,549	付記2
会議費	100,000	99,065	うち新年互礼会は付記3
庶務費	550,000	558,000	
〔一般事業費〕	[3,550,000]	[2,889,733]	
大手前だより発行費	2,500,000	2,206,326	
新入会員歓迎会	450,000	408,154	付記4
IT関連費	400,000	151,993	
金庫会セミナー補助金	200,000	123,260	付記5
〔特別事業費〕	[3,670,000]	[6,335,501]	
母校への支援	1,000,000	1,000,000	
母校の国際交流事業支援	400,000	400,000	
国際プログラム賞			一般財団法人から支出
母校の海外派遣事業支援	2,200,000	4,900,000	海外派遣支援基金に繰入
文庫資料補修	40,000	31,535	
会員名簿整備	30,000	3,966	
〔予備費〕	[300,000]	[0]	
支出小計	10,196,600	12,008,848	
[当期収支差額(繰越金)]	△[553,400]	[2,255,452]	
合計	11,050,000	14,264,300	

付記1 雑収入 単位(円)

科目	金額	備考
会館利用料	244,000	
コピー料	47,645	
データ料	40,220	
その他の雑	77,435	クリアファイル76,000、預金利息等1,435
合計	409,300	

付記2 事務局費 単位(円)

科目	予算	決算	備考
運営助手手当	550,000	522,450	
データ処理委託費	100,000	100,000	
事務用品費	250,000	130,077	
通信費	200,000	218,750	
印刷費	160,000	150,645	
電話料	120,000	108,931	
会館運営費	310,000	326,552	
払込手数料	270,000	255,310	会費などの振込料
複合機リース料	291,600	283,500	
雑費	75,000	30,334	主たる出金: 火災保険料
合計	2,326,600	2,126,549	

付記3 新年互礼会(会費の一部) 単位(円)

収入科目	金額	支出科目	金額
会費 @300×62名	311,000	会費	276,661
答	60,000	参加賞・品	95,476
		実行委員・学生	37,641
		印刷費(名簿)	222
合計	370,000	合計	370,000

付記5 金庫会セミナー 単位(円)

収入科目	金額	支出科目	金額
年会費	314,000	会費	962,174
当日会費	920,500	聴講費	199,800
飲み物代	49,500	講師料	100,000
寄附	10,000	講習(宅急便)・印刷費	55,280
一般会計より補助	121,200		
合計	1,317,200	合計	1,317,200

付記4 新入会員歓迎会 単位(円)

収入科目	金額	支出科目	金額
寄附	80,000	会費	351,041
		参加賞・品	116,084
一般会計より補助	408,154	案内状印刷費	18,079
合計	488,154	合計	488,154

2 貸借対照表 (平成27年3月31日現在) 単位(円)

科目	金額	科目	金額
現金	131,862	預かり金・基金・準備金	
普通預金(三井住友)	83,065	次年度以降会費預かり金*1	470,000
普通預金(三井住友)	5,688,040	金庫会運営準備金*2	6,616,382
郵便口座	29,236,261	金庫会創立120周年基金	4,420,351
		母校海外派遣事業支援基金*3	5,500,000
		金庫会クルーズ準備金	600,000
		未払金	151,200
		小計	17,757,933
		剰余金	
		前期繰越剰余金	15,125,843
		当期剰余金	2,255,452
		小計	17,381,295
合計	35,139,228	合計	35,139,228

1 次年度以降会費預かり金	2 金庫会運営準備金	3 母校海外派遣事業支援基金
期初繰越金	6,833,240	期初繰越金
今年度年会費に充当	△216,858	母校の海外派遣事業支援
今年度年会費より振替	6,616,382	母校の海外派遣事業支援
期末繰越金	470,000	期末繰越金

平成26年度決算を、貸借対照表・収支決算書(付属書類を含む)の通り報告致します。

平成27年3月31日 金庫会 会計理事 貫井 昌博 山本 隆夫

監査報告 このたび、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの決算について、監査を行いましたところ、適正かつ正確でありましたことをご報告申し上げます。

平成27年4月10日 金庫会 監事 五十嵐祥晃 監事 中川 康一

金蘭会ホールのご案内

〈事務局からのお知らせ〉
金蘭会館へのお車でのご来館はご遠慮いただいております。特別に事情がある場合は、事前に金蘭会事務局にご連絡ください。学校と相談してお返事いたします。

金蘭会パソコンスクール 金蘭会館2階ホール

入退会随時・自由出席・初心者歓迎



受講生の目的に合わせてマンツーマン対応
パソコン持参・スクールのパソコン使用のどちらでも可
クラブ的な雰囲気 3時のティータイムも楽しみ
インターネット・メール・ワード・エクセル・デジカメ
写真加工・年賀状・名刺・案内状・住所録・CD/DVD・パワーポイント等々
総勢16名の同窓生お助けバースンが交代で夫々の持ち味を活かしてお手伝い

予約なし手ぶらで見学OK
下記の開催日に一度覗いてみてください
まだパソコンをお持ちでない方も大丈夫

月・金曜日に年間60回程度開催
年内の開催スケジュール 13:00~17:00
7月 24・31 2時間×2コマ 計4時間
8月 24・28 参加費 2時間あたり500円
9月 7・11・14・25・28
10月 5・9・19・23・26・30
11月 6・9・13・16・27・30
12月 4・7・11・14 連絡先 tel/fax 0743-78-4847 五十嵐
金蘭会ホームページ <http://kinran.jp/>のパソコンスクール欄もご覧ください

第18期皆勤賞

(H25年9月~H26年7月)

171回~180回セミナー

- 得津 美智子 (S16)
 - 岩田 和歌子 (S16)
 - 奥田 美貴子 (S20.5)
 - 大西 千枝子 (S22.5)
 - 福渡 澄子 (S26)
 - 植田 慶子 (S28)
 - 赤松 峰子 (S29)
 - 久保田 和夫 (S29)
 - 三善 洋子 (S31)
 - 小坂 文子 (S31)
 - 縄手 ケイ子 (S31)
 - 吉本 浩子 (S31)
 - 小田 純子 (S31)
 - 竹島 多美枝 (S32)
 - 安橋 興二郎 (S34)
 - 五十嵐 祥晃 (S34)
 - 山崎 良子 (S36)
 - 留井 恵子 (S39)
 - 田原 由夫 (S40)
 - 安積 香代子 (S40)
 - 大鍛治 和美 (S46)
 - 田中 文 (S50)
- (敬称略)

金蘭会セミナー 第19期報告

第回	月日	講演	講師	聴者
181	平成26年 9月19日	宇宙から地球を診る ~地球環境変動観測ミッション(GCOM)~	中川 敬三氏 (S50卒) 宇宙航空研究開発機構 先進衛星技術開発室室長	95
182	平成26年 10月17日	黒田官兵衛と戦国武将達の寿命戦争	若林 利光氏 (S46卒) 若林医院院長・作家	87
183	平成26年 11月21日	国税職員として 税理士として	田中 明子氏 (S53卒) 田中明子税理士事務所所長	75
184	平成26年 12月19日	シニアの皆さん、 社会への恩返しので頑張りましょう	中村 猛氏 (S34卒) 医療法人みどり会理事長 社会福祉法人松樹会理事長	80
185	平成27年 2月13日	相続と遺言について	平井 義丸氏 (S39卒) 兵庫県弁護士会所属弁護士 元福井地方検察庁検事正、元神戸公証センター公証人	101
186	平成27年 3月27日	わたしは広島原爆で地獄を見た	有田 卓司氏 (S28卒) 水彩画家	111
187	平成27年 4月17日	頻度の高い癌の適切な検査法、画像診断	大野 浩司氏 (S50卒) 大阪鉄道病院放射線科部長	89
188	平成27年 5月15日	天下人の城大工~中井大和守の仕事	谷 直樹氏 (S42卒) 大阪くらしの今昔館館長 大阪市立大学名誉教授	87
189	平成27年 6月19日	阪神・淡路大震災が教えてくれた 高いの旋とアナログの大切さ	森 忠延氏 (S54卒) 柳井戸書店 代表取締役	84
190	平成27年 7月17日	キトラ古墳天文図・入門	宮島 一彦氏 (S40卒) 同志社大学元教授 中之島科学研究所研究員	未

第20期 金蘭会セミナーへのお誘い

平成28年9月から始まった金蘭会セミナーは、講師も受講者も会員で、会員相互の親睦を深め教養を高めることを目的としています。奮ってご参加下さい。

- とき **原則第3金曜日**
(1・8月は休み)
午後6:00~7:00 卓話
午後7:00~8:00 交流会
- ところ 金蘭会ホール
- 費用 (年会費)年間1,000円
(年10回の往復はがき代)
(参加費)当日徴収
1回1,000円(軽食費込み)
(ビクターは1,500円)
- 申込方法
金蘭会セミナーの年会費1,000円を、「大手前だより」に同封の振込用紙にてお振り込み下さい。振り込んでいただいた方に毎回往復はがきにてご案内いたします。出欠はその都度お返事ください。

金蘭会セミナー 予告

- 第191回セミナー 9月18日(金)
テーマ:大阪で心配な自然災害と心構え
講師:河田 恵昭氏 (S39卒)
京都大学名誉教授
関西大学社会安全学部教授
社会安全研究センター長
阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター長
- 第192回セミナー 10月16日(金)
テーマ:農を感じる暮らしを楽しもう!
講師:中村 貴子氏 (H2卒)
京都府立大学
生命環境科学研究科講師
- 第193回セミナー 11月20日(金)
テーマ:(仮題)大阪・光の宴宴
~水の都・大阪の夜景~
講師:花澤 隆博氏 (S63卒)
大阪市経済戦略局
総務部総務課長

金蘭会文庫委員会

金蘭会に保管されている貴重な資料や書籍、写真などを調査した結果、同窓生や元教員が著者の書籍が約80冊、明治6年から戦前までの教科書が約140冊、明治からの学級写真や卒業写真、文集や他校記念誌などがありました。

昨年、この欄をお借りして探していました大手前新聞の第161号、164号、168号は2名の方から提供していただきました。誠に有難うございました。

引き続き、下記資料を探しております。
寄贈もしくはお貸しいただける方がございましたら、金蘭会事務局までご連絡ください。

大手前学園新聞 (大手前高等学校発行)
第2号、4号、9号

大手前学園新聞 (~第29号まで) (大手前高等学校発行)
第3号~15号

大手前新聞 (第30号~) (大手前高等学校発行)
第31号、第34号~37号、42号、46号、47号、51号、70号(3面、4面)、85号、96号、104号、134号、173号、180号、184号、191号~
卒業アルバム

梅田高等女学校:明治45年、大正2~8年、大正11年
大手前高等女学校 本科:大正14年、大正15年、昭和19年~22年

大手前高等女学校 高等科:大正13年、昭和11年、12年、17年~20年、22~23年

大手前高等学校:昭和24(1949)年、59(1984)年、60(1985)年、61(1986)年、平成20(2008)年
(金蘭会文庫委員長 S56卒 横幕 久治)

同好会

ご参加お待ちしております

	身近な法律Q&Aゼミ	俳句ゼミ	スクエアダンス同好会	囲碁同好会
内容	身近な法律問題(相続・離婚・近隣トラブル・不動産賃借権・金銭トラブル等)について具体的な事例を毎回3問検討しています。また、関連する問題についても解説されるので役立ちます。消費者被害のケースと対応策の資料も毎回配布されています。	俳句の基礎知識を学びながら、四季の移り変わりや、日常の暮らしの中での様々な感情を俳句に詠む楽しさを味わいます。句会や吟行に参加して作句力を養います。初めての方のご参加、大歓迎です。	スクエアダンスはアメリカ生まれで世界中で踊られています。踊りを習得すれば、外国に行っても現地の人と一緒に楽しく踊ることが出来ます。男・女のペア4組(8人)が1グループになり、軽快な音楽に乗って踊ります。上から見れば、8人が四角や輪になったり、放射状になったりして、カレイドスコープ(万華鏡)のように次々と形が変わる踊りです。	囲碁を知ると知らないのでは、人生の豊かさは大きく異なります。初心者でも先に石をいくつか置く(ハンディ)ことによって、有段者とも互角に対戦することが出来ます。
講師	弁護士 田中宏幸氏 (S49卒)	NHK学園俳句講師 池田泰子氏 (S29卒)	インストラクター(コーラー) 水澤健一氏 (S34卒)	塩見能和氏 (S39卒)
日時	平成27年: 4/17(金)、6/19(金)、8/27(木)、10/16(金) 午後3時~5時(金蘭会館2階) 9/18(金): 午後0時45分~午後3時 (法廷傍聴会:大阪地方裁判所) 12月未定(忘年会)	平成27年: 5/15(金)、7/17(金)、9/18(金)、11/20(金) 平成28年: 1/8(金)、3/25(金) 午後1時30分~4時30分	平成27年: 7/27(月)、8/24(月)、9/14(月)、9/28(月)、10/5(月)、10/19(月)、11/9(月)、11/16(月)、12/7(月)、12/14(月) 平成28年: 未定 午前10時~12時	毎月 第2木曜日 午後1時~4時30分
費用	年会費 5,000円 (会場費、資料代、お菓子、忘年会費込み)	年会費 5,000円 開催日にご持参ください。全6回の会場費、資料代、用紙代等々として。	前期(4月~9月) 5,000円 後期(10月~3月) 5,000円 中途1ヶ月 1,000円	年会費 5,000円
お問い合わせ	田中宏幸氏 (S49卒) TEL: 06-6630-3005	講師 池田泰子氏 (S29卒) TEL/FAX: 0745-45-1720 幹事 廣田允義氏 (S30卒) TEL・FAX: 06-6852-6688	堀内 勲氏 (S35卒) TEL: 06-6951-6119 携帯: 090-4270-9920	塩見能和氏 (S39卒) TEL: 090-8828-8945 e-mail: shlomi-5521-omura@docomo.ne.jp

金蘭会ホール使用要領

- 使用対象者
金蘭会会員、金蘭会会長又は大手前高等学校校長が認めた者
 - 使用可能日時
原則として火、木、土曜日
午前11時~午後4時、午後5時~午後8時
上記以外の日時については事務局にご相談ください。
 - 申込について
①事務局に申込む。
TEL06-6942-3947 FAX06-6942-4124
使用希望日が重複した場合は先着順。
②事務局から申込者に申込用紙を送る。
③申込者は用紙に所定事項を記入して事務局に送る。
④事務局より申込者へ許可証を送る。
⑤許可証を当日持参のこと。
⑥寿司、軽食等の出前希望のときは、申込書にその旨を記入のこと。
 - 使用料金
- | | 午前11時~午後4時 | 午後5時~午後8時 |
|---------------|------------|-----------|
| 会議室(30名~50名) | 3,000円 | 5,000円 |
| 談話室(20名~30名)* | 3,000円 | 5,000円 |
- *サラウンドシステム・スクリーン完備
- その他
使用目的が同窓会活動に著しく逸脱する場合は許可しません。
使用においては学校敷地内であることを配慮のこと。
予約利用状況は、<http://kinran.jp/sche/sche28.cgi> で確認できます。

新役員・評議員一覧

名前の前の★は学年代表評議員

学年	氏名	卒年	学年代表評議員
【理事】 高等女学校	和田村田	(S16卒)	
	岩木米	(S19卒)	
	和田村田	(S21.4卒)	
	和田村田	(S27卒)	
	岩木米	(S28卒)	
	和田村田	(S30卒)	
	岩木米	(S33卒)	
	和田村田	(S34卒)	
	岩木米	(S35卒)	
	和田村田	(S37卒)	
【監事】 高等女学校	和田村田	(S39卒)	
	岩木米	(S40卒)	
	和田村田	(S42卒)	
	岩木米	(S45卒)	
	和田村田	(S46卒)	
	岩木米	(S49卒)	
	和田村田	(S50卒)	
	岩木米	(S52卒)	
	和田村田	(S53卒)	
	岩木米	(S54卒)	
【評議員】 高等女学校	和田村田	(S56卒)	
	岩木米	(S57卒)	
	和田村田	(S58卒)	
	岩木米	(S62卒)	
	和田村田	(S61卒)	
	岩木米	(S62卒)	
	和田村田	(S63卒)	
	岩木米	(H01卒)	
	和田村田	(H02卒)	
	岩木米	(H03卒)	
【理事】 高等女学校	和田村田	(S44卒)	
	岩木米	(S53卒)	
	和田村田	(S15卒)	
	岩木米	(S16卒)	
	和田村田	(S17卒)	
	岩木米	(S18卒)	
	和田村田	(S19卒)	
	岩木米	(S20.5卒)	
	和田村田	(S20.4卒)	
	岩木米	(S21.4卒)	
【評議員】 高等女学校	和田村田	(S22.5卒)	
	岩木米	(S23卒)	
	和田村田	(S14卒)	
	岩木米	(S23.4卒)	
	和田村田	(S24卒)	
	岩木米	(S24.4卒)	
	和田村田	(S24.4卒)	
	岩木米	(S24.4卒)	
	和田村田	(S24.4卒)	
	岩木米	(S24.4卒)	
【理事】 高等女学校	和田村田	(S24卒)	
	岩木米	(S25卒)	
	和田村田	(S26卒)	
	岩木米	(S27卒)	
	和田村田	(S28卒)	
	岩木米	(S29卒)	
	和田村田	(S30卒)	
	岩木米	(S30卒)	
	和田村田	(S30卒)	
	岩木米	(S30卒)	
【評議員】 高等女学校	和田村田	(S31卒)	
	岩木米	(S32卒)	
	和田村田	(S33卒)	
	岩木米	(S34卒)	
	和田村田	(S35卒)	
	岩木米	(S36卒)	
	和田村田	(S37卒)	
	岩木米	(S38卒)	
	和田村田	(S39卒)	
	岩木米	(S40卒)	
【理事】 高等女学校	和田村田	(S41卒)	
	岩木米	(S42卒)	
	和田村田	(S43卒)	
	岩木米	(S44卒)	
	和田村田	(S45卒)	
	岩木米	(S46卒)	
	和田村田	(S47卒)	
	岩木米	(S48卒)	
	和田村田	(S49卒)	
	岩木米	(S50卒)	
【評議員】 高等女学校	和田村田	(S51卒)	
	岩木米	(S52卒)	
	和田村田	(S53卒)	
	岩木米	(S54卒)	
	和田村田	(S55卒)	
	岩木米	(S56卒)	
	和田村田	(S57卒)	
	岩木米	(S58卒)	
	和田村田	(S59卒)	
	岩木米	(S60卒)	
【理事】 高等女学校	和田村田	(S61卒)	
	岩木米	(S62卒)	
	和田村田	(S63卒)	
	岩木米	(H01卒)	
	和田村田	(H02卒)	
	岩木米	(H03卒)	
	和田村田	(H04卒)	
	岩木米	(H05卒)	
	和田村田	(H06卒)	
	岩木米	(H07卒)	
【評議員】 高等女学校	和田村田	(H08卒)	
	岩木米	(H09卒)	
	和田村田	(H10卒)	
	岩木米	(H11卒)	
	和田村田	(H12卒)	
	岩木米	(H13卒)	
	和田村田	(H14卒)	
	岩木米	(H15卒)	
	和田村田	(H16卒)	
	岩木米	(H17卒)	
【理事】 高等女学校	和田村田	(H18卒)	
	岩木米	(H19卒)	
	和田村田	(H20卒)	
	岩木米	(H21卒)	
	和田村田	(H22卒)	
	岩木米	(H23卒)	
	和田村田	(H24卒)	
	岩木米	(H25卒)	
	和田村田	(H26卒)	
	岩木米	(H27卒)	
【評議員】 高等女学校	和田村田	(S42卒)	
	岩木米	(S30卒)	
	和田村田	(S27卒)	
	岩木米	(S28卒)	
	和田村田	(S34卒)	
	岩木米	(S49卒)	
	和田村田	(S42卒)	
	岩木米	(S30卒)	
	和田村田	(S28卒)	
	岩木米	(S34卒)	

台湾三都市周遊と鹿耳島

金蘭会125周年記念

クルーズのお誘い



～ダイヤモンド・プリンセス号で行く～

過去3回実施し好評を博した金蘭会記念クルーズを、皆様のアンコールにお応えし金蘭会125周年を機に企画いたしました。今回は外国大型客船相乗り利用です。会員相互の親睦・交流が図れるよう、金蘭会独自のプログラムも用意しています。大勢の皆様のご参加をお待ちしています。

＊外国大型客船「ダイヤモンド・プリンセス」
(11万6千ト、乗客定員2,670名)

＊平成28年5月8日(日)～16日(月)
8泊9日の船旅

神戸～鹿児島～基隆(台北)～高雄
～花蓮～神戸

＊クルーズ代金

海側船室 1,833,200円

海側バルコニー付 2,776,200円

(政府関連諸税・運営分担金を含む)

その他諸費用は別途

＊詳細は同封のチラシ・金蘭会ホームページをご覧ください。

各委員会報告

Ⅰ Ⅰ 委員会

ⅠⅠ委員会はホームページ部とパソコン部で構成されています。

ホームページ部 (部長 吉田康一 S37卒)

「WEB金蘭会」から同窓会活動全般の情報を発信しており、母校の様子を垣間見ることが出来ます。例えば「母校支援」の記事からは、母校の国際教育の進展ぶりや、多様な教育活動の一端を実感できます。

実用面では「同窓会学年会案内」「金蘭会館利用状況」「事務局への連絡」「住所等の変更」などがよく活用されており、「今月のPhoto」は楽しい交流の場といったところです。更に、蓄積された各資料はそれぞれの時代の貴重な記録ともなっています。「金蘭会セミナー」では毎年10回の報告がなされており、「スプリング」では55年分もの母校の自治会誌がすべて収録されています。

情報満載の「WEB金蘭会」を皆様のパソコンの「お気に入り」にぜひご登録下さい。

パソコンスクール部 (部長 五十嵐祥晃 S34卒)

月、金曜日の午後16時～18時程度スクールを開催しています。詳細は9頁の「金蘭会ホール」案内に掲載されています。入退会随時、自由出席のアウトホームな雰囲気の中で、それぞれの受講生の多様な目的にあったマンツーマン対応が特色です。

関心をお持ちの方は開催日に一度覗いてみてください。お待ちしております。

ⅠⅠ委員会委員長 S35卒 山口 高弘

Ⅱ 名簿委員会

会員の皆様方にはいつもご協力いただき有り難うございます。ご承知のように金蘭会会員名簿は5年ごとの刊行を続けてまいりました。平成28年は母校創立130周年、金蘭会創立125年に当たり名簿刊行の年度になり

ります。しかし、各学年ごとに既にデータを持つておられるという事実と昨今の世情に鑑み、理事会でも回を重ねて刊行の是非について検討を続けてまいりました結果、今回は見送るという結論に達しました。もちろん皆様方のご要望に基づき、必要と判断されれば再度刊行の運びとなるかとも思いますが、取り敢えず平成28年の会員名簿は刊行しない事となりましたのでご了承下さい。

ただ、会員の最新かつ正確なデータの保持は同窓会の大きな役目でもありますので、住所その他の変更は「WEB金蘭会」からご通知いただくか、学年代表評議員を通じてご報告ください。また、学年会・クラス会・OB会・同好会等々の折に判明した変更事項は、速やかにご連絡くださるようお願いいたします。(名簿委員会委員長 S33卒 石川 温子)

Ⅲ 母校支援委員会

本年度の母校支援事業の内容は、次の通りです。

前年度に創設された海外派遣の支援は、米国立スタンフォード大学に、7月27日～8月3日の八日間、10名を派遣することに決まりました。

また平成十五年から続いている英国ベンゲライス校との交流は、本年は派遣の年に当り、7月10日～7月17日の八日間、二年生5名、一年生5名計10名の派遣を支援いたします。

これ以外に一般教育活動の充実をはかるため、集中セミナー、文化講演会等の実施の支援を行います。

年々発展していく母校の教育活動への支援は、大変有意義なことであり、これは会員皆様のご支援ご協力があって出来ることであり、感謝申し上げます。(前母校支援委員会委員長 S27卒 升谷 博)

Ⅳ 行事委員会

新入会員歓迎会

昨年九月七日(日)金蘭会ホールに於いて、平成二十六年卒の新入会員百十九名、先生十三名出席のもと開催しました。

美味しいお料理とケーキや果物、出席者全員への参加賞、先輩会員ご提供の豊富な賞品によるゲーム等で、新入会員を歓迎しました。卒業後初めての学年会で、参加して下さった十三名の先生方や同窓生との会話も弾んでいました。

この歓迎会が、今後の同窓会活動への理解と参加につながってほしいと思います。

なお、当日の写真は、金蘭会のホームページ(http://kinan.jp/)にアクセスし、サイドメニュー「新入会員歓迎会」からご覧ください。パスワードは、shinrankanです。

(行事委員会委員長 S40卒 安積香代子)

平成二十七年卒の皆様へ

今年度の新入会員歓迎会を、母校の文化祭の日程に併せて開催します。

日時 平成二十七年九月六日(日) 十二時三十分より

場所 金蘭会館二階 金蘭会ホール

会費 無料

内容 立食パーティー、ゲーム

詳細は、往復はがきにてご案内いたします。

金蘭会のホームページから申し込みます。

メールでの申し込み締め切り

八月二十日(木)

奮ってご参加ください。



(昨年の新入会員歓迎会)

学年会だより

大 阪 城

(昭和二十六年卒)

当日の朝まで、台風18号の進路にやきもきしましたが、幸いなことに天候も回復、各地の被害に心を痛めつつも同窓会を開催することが出来ました。

「いけないことでしたが、こっそり授業を抜け出して、お堀端から眺めた大阪城は、青春期にありがちの小さな憂鬱をやさしく慰めてくれるようでした。そしてそれから、私たちが成長していくのをずっと見守っていてくれたように思います。今回の会場からは、そのお城が眼下に一望できます。灯りだした大阪の街の明かりが、やさしくお城を浮かび上がらせます。高校の頃、仰ぎ見ていた大阪城が、まるで掌に包めるようで、愛おしくさえ思えます。さあ、あの頃の思い出を語り合ひましょう。」

（ご案内にこう書きました。）

東京方面からのご参加が取り消されたのは残念でしたが、北野高校の卒業生有志も合わせて五十八名の参加で楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

さすがに杖を曳く人も増えたものの、高校時代に返ってのおしゃべりは尽きませんでした。各テーブルを回って演奏のオーディオの伴奏で「高校三年生」の歌も飛び出しました。最後の校歌斉唱の時間になると、すっかり暮れた公園の中に大阪城が美しく浮かび上がりました。

入学したころの戦時中、覗き見ることの出来なかつた砲兵工廠跡が美しい公園に蘇っているのを見て、平和の有難さを感じました。「東京オリンピック」の開催を元気に迎えようと決意をして散会しました。

文責 中原 敏雄

四期生学年会報告

(昭和二十七年卒)

今年の学年会は、6月26日(金)大阪の新しい名所あべのハルカス大阪マリオートホテル20

階で卒業63周年を記念して開催しました。

岸田、杉野両先生もお元気な顔を見せていただき、会を盛りあげていただきました。いつまでも変わらない古い付き合いの仲間達が、変わっていく大阪の町並を眺めながら、時の経つのも忘れて語り合えることは、本当に素晴らしいことであり、出席者一同お互いに喜び合えるものと思います。取り敢えず平成29年の卒業65周年を目標に、その後は事情が許す限り続けていきたいと思っております。

なお東京27会は、春は3月28日(土)に開催され23名の出席でした。秋は10月24日(土)に開催される予定です。 文責 升谷 博

傘寿記念六期会の開催予告

(昭和二十九年卒)

六期会の皆さん、お元気ですか。昨年は上川庄二郎さんのお世話で10月2日に神戸のオリエンタルホテルで六期会を開催しました。62名が参加され、昼食を楽しみながら歓談しました。その後、隣接する神戸市立博物館で、上川さんが同館に寄贈された「明治鉄道箱絵受贈20年展」を鑑賞しました。

本年は、傘寿記念六期会を左記のとおり開催いたします。多数のご参加をお待ちしています。楽しい会にする何か良い案などありましたら幹事までお知らせください。

- 一 開催日：二〇二五年十一月二十四日(火)
- 二 場所：ホテルグランヴィア大阪
- 三 時間：十二時から十四時三十分
- 四 会費：一〇、〇〇〇円

なお、金蘭会の理事ならびに学年評議員を長年務められた上川庄二郎さんが体調不良のため引退され、金田昭子さんも任期満了で交替されます。お二人の長年のご苦勞に感謝いたします。本年度から左記の四名が学年評議員を務めることとなります。ご支援をお願い致します。

橋本健治(078-201-5395)、池田泰子(0745-45-1720)、太田富雄(072-826-5291)、荻野紀子(072-833-6882)(FAX兼用)。
住所変更などは橋本まで、FAXまたはメールでご連絡ください。
k-hashimoto@iris.ocn.ne.jp 幹事一同

卒業六十周年・傘寿記念

学年同窓会開催のご案内

(昭和三十年卒)

昭和三十年卒業の同期の皆さん、お元氣でお過ごしでしょうか。私たち同級生も傘寿を迎える歳となりました。大手前高校を卒業して六十周年になります。流石この年齢になりますと、皆さん元氣でご活躍とは少し無理かと思ひます。幸い傘寿まで生きることが得ました事は幸いなことです。その幸を皆さんと共に感じ、語り合いたく記念同窓会を次のとおり開催いたします。皆さんのご参加をお待ちしております。

記

日 時 平成二十七年十月十四日(水)
午後0時三十分～午後三時
場 所 ザ・リッツ・カールトン大阪
会 費 一〇、〇〇〇円

なお、会合の詳細につきましては、九月初旬に皆さん宛に案内を申し上げます。
また、今後の同窓会は、毎年十月の第三水曜日を決めさせていただきますので、ご予定よろしくお願ひいたします。

(参考 今後三年間の開催予定日)
平成二十八年十月十九日(水)
平成二十九年十月十八日(水)
平成三十年十月十七日(水)
皆さんとお会いできますことを楽しみにしております。
文責 多田 嘉孝

さんさん会(第10期生)同窓会

(昭和三十三年卒)

昨年11月、新フランスワインの解禁日に、元氣な老人80余名が一堂に会し楽しい一時を過ごしました。若き日の憧れのマドンナ達も、年輪を重ねて浮世のしがらみを現しながらも、ワイン片手に談笑すれば、あの若い頃に戻ってました。

さんさん会とは、オレオマエが通じ、浮世の垢を互いに洗い流し、互いに元氣を注入するステージです。

さて今年のさんさん会は全ての参加者が後期高齢者となる同期会ですが、若手に負けなない、若手の手本となる、活気に満ちた同窓生達の集まりを期待しています。日時は10月22日(水)午後、会場は前回と同じホテル阪急インターナショナルで行いますので、来る酷暑を軽く乗切り大勢のご参加をお願いします。その折には近況報告とともに「私の健康法」を簡単に(合計5分以内)お話しいただき、相互の健康寿命の維持向上に資する会にしてまいりたいと思ひます。
幹事 葛原 毅

アイアイ会だより

(昭和三十四年卒)

ときは4月9日、ところは鴨川そばのKKR京都くく荘にて、標記アイ会を開催した。
昨年55周年をやった翌年ということで、集まりが悪いのではないかと心配されたが、いざふたをあげてみると、約80人が出席し思ひのほかの盛会になった。

一次会は、「くく荘自慢の会席料理を楽しみながら歓談を」が売りであった。ボンブの呼び水として、まず、有志から話題提供が行われた。しかし、そのあとは自然に会話が弾み会場内騒然となる中、またたく間に2時間が経過した。30分の中休みには、香淳皇后ゆかりの久邇宮邸跡の庭や鴨川の名残の桜を楽しんでもらう心算であったが、大方の人は外にも出ず、話の続きに花を咲かせていた。

二次会は自由席なので、それぞれ新しい話し相手を求めて語り合ひ、この1時間もあっという間に過ぎ去った。

終了が4時、まだ陽も高いということで、ある人は京都御苑のしだれ桜を求めて、ある人は新島別邸や嵐山寺などの名所を探訪しつつ、三々五々家路についた。

思えば、この1年のうちに全員が後期高齢者の仲間入りする。しかし、この日の元氣さならば、米寿白寿どころか皇寿さえ夢ではないと思わせられる一日であった。

なお、来年は4月6日(水)正午からザ・ガーデンオリエンタルホテル大阪(旧大阪市公館)で開催予定です。
幹事 同

五十五周年同窓会の報告

(昭和三十三年卒)

十二期生は卒業五十五周年記念の同窓会を五月二十六・七日の両日、有馬温泉での宴会と宿泊、翌日は神戸港沖でのクルージングとの組み合わせにて開催しました。

五年前の五十年会は京都市内泊で高雄へ、三年前の古希記念同窓会は下田泊で伊豆半島をぐるり一周、今回は「ゴッー大作戦」の掛け声のもと、新大阪から手配の貸切バスを利用したり、個々に誘い合わせて路線バスや神戸電鉄有馬線等で直接目的地に向かったりと、九十五名がエクシブ有馬離宮に集合し、温泉で疲れを癒し、宴会や二次会では互いの近況報告等で大いに盛り上がりました。

翌日は夏日のような好天の中、観光バスで六甲を越え、神戸港中突堤からルミナス神戸2に乗船、最上階のサールド・メールでランチと大阪湾クルージングを楽しみました。

翌日神戸に駆け付けた九名の方を加え参加者総数は百四名と今回も三桁となりました。遠来の方々、何かとご支援ご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。(幹事一同)

笑顔が一杯、卒業五〇周年同窓会

(昭和四十年卒)

五月四日、KKRホテル大阪において卒業五〇周年記念学年同窓会を開催し、二次会を含めて百二十一名が集いました。

時期及び場所選びでは、満開の桜で彩られた大阪城と母校が一望できるようにと同ホテル十四階のオリオンの間にしました。

当日は「同窓会の前に母校を訪れてみませんか？」という呼びかけに応じて生憎の模様にも拘わらず十五名の方々が何十年ぶりかの母校を懐かしみました。

会場には受付時間の前から日本の各地から続々と同窓生たちが集まり、久しぶりの再会を喜び合ったり、お互いの顔かたちの変わりように驚いたり、でもあつという間に全員高校時代にタイムスリップして気持ちが高校生に戻っていきましました。

その高まった気持ちは卒業写真「あおざり」からクラス写真と仲間たちと写った写真をスクリーンに映し出すと益々高揚してきたようです。クラス毎に前に集まり映し出されるお互いの昔の写真を指さしながら全員の前から笑顔がこぼれていました。

あつという間に三時間は過ぎ、八十数名が二次会の会場に場所を移しましたが話は尽きず、六時過ぎに名残惜しさを残して散会しました。

なお、五十周年記念として皆様のご協力で「テント」二張りを学校に寄贈いたしましたので併せてご報告いたします。

文責 谷本 敏光

十八期生学年会報告

(昭和四十二年卒)

去る4月19日(日)「ホテルグランヴィア大阪 名庭の間」にて十八期生学年会を開催いたしました。実は昨年10月13日に開催すべく計画していたのですが、当日はあいにくの大型台風が来襲し、前日にやむなく急遽中止を決定、延期したという経緯がありました。その時は参加するために海外から既に帰国していた人もいたとことで申し訳ないことになりました。

さて今回は、無事当日を迎え、78名の参加で盛大な会になりました。残念ながら今回も招待した石川甲先生・杉野としゑ先生は都合が悪く参加いただけませんでした。次の機会にはぜひご参加いただきたいと思っております。

因魂世代の私たち、まだまだ現役で働いている人もいますが、話題は高校時代の思い出からそれぞれの人生と尽きることなく、あつという間の2時間半が過ぎ、最後に全員で校歌・自治会歌・応援歌を斉唱し一旦お開きとなりました。場所を変えての二次会では二次会に参加できなかった人も加わり総勢57名の参加で、またまた盛り上がりました。散会後は、さらにそれぞれのグループで三次会へと向い楽しい日が終わりました。

文責 浅野 裕

昭和四十九年卒だより

(昭和四十九年卒)

来年はオリンピック開催の年ですので、学年会を母校近くで行います。母校内の金蘭会館二階を利用しての企画も視野に入れていきます。

今年から来年にかけて還暦を迎えられる皆さま、気持ちだけは四十代、五十代を保つたままご参加下さい！

ご案内を差し上げる都合上、ご住所に変更がありましたらご連絡お願い致します。

文責 田中 宏幸

TEL 06-6630-3005
FAX 06-6630-3015

卒後四十年同窓会のお知らせ

(昭和五十年卒)

5年おきに開催しています学年同窓会の年を迎えました。次の通り開催いたします。このほどクラス幹事会を開いて決めました。ご都合をつけてぜひお越しください。

記

日時 二〇五十年十月三日(土)

午後五時~七時

場所 ホテル阪急インターナショナル

(大阪市北区茶屋町)

会費 二万円(予定)

往復はがき・メールによるご案内を七月下旬に予定しています。

幹事代表 小林 一則(七組)
090-9610-4037

五年ぶりに開催!

卒業三十五周年同窓会

(昭和五十四年卒)

これまで十年間隔で開催してきた学年同窓会を今回は五年ぶりに開催しました。

「35年やし、あまり派手にせず、母校では何かユニークで楽しめる企画を、天満橋を舞台にした宴会では参加者ができるだけ話を

できるように」というコンセプトで計画。

平成26年11月22日(土)、11時から母校の金蘭会ホールにて「おとなの文化祭」と称し0次会をスタート。喫茶コーナーも用意された会場において、展示の部では、趣味の作品や著作物などが所狭しと並べられ、テレビ出演された方々のVTRなども放映されました。また、出演の部では、卒業当時の予饗会で演じられたピンクレディーメドレーの再現を皮切りに、アカデミックな講話、生活に役立つ話、さまざまな体験談、そして落語も参加者50名は予定の二時間を存分に楽しみました。

その後、会場を大阪キャッスルホテル内の錦城閣に移し、担任を受け持っていた中川先生、佐野先生、今西先生、藤田先生をお迎えし、総勢百三十三名で二次会を開催しました。五年ぶりの人もいれば、35年ぶりの人も。でも同窓会は不思議なもので、何年ぶりであろうが、何歳であろうが、気持ちは高校時代へすぐにワープ。三時間では話足らず半数以上の者が二次会へと流れ込みました。次回は40周年か還暦記念会か?同窓生の皆さん、それまでお元気で!

文責 野口 幸一

学年同窓会のご案内

(昭和五十六年卒)

皆さま、いかがお過ごしでしょうか。五年ぶりに学年同窓会を開催いたします。

日時 二〇五十年十一月二日(日)

一次会 十二時三十分~十三時三十分
(受付開始 十一時)

二次会 十四時~十六時三十分

場所 シティプラザ大阪
(中央区本町橋一三)

詳細につきましては、九月上旬に往復はがきにてご案内いたします。

連絡やお問い合わせは左記まで
TEL 090-38866-8506

メール Hyokomaku@nub.biglobe.ne.jp
学年代表評議員 横幕 久治

支部この一年

阪急支部

阪急支部は、毎年一回、秋に懇親会（総会）を開催しています。

昨年は平成26年10月13日（月・祝）大阪新阪急ホテルで開催し、アトラクションにアルゼンチンタンゴの演奏とダンスを楽しんでいただきました。

今年も、左記の要領で開催します。

日時 平成27年9月27日（日）

午前十一時半より

会場 大阪新阪急ホテル 星・月の間

フラメンコダンスと演奏

卒業生であれば、阪急支部会員以外でも参加できます。学年会の延長で、お友達と誘い合わせて参加というのも結構です。

案内状が必要な方は、お申し出下されば、お送りします。

問い合わせ先

TEL 06-6863-5212

支部長 S30卒 森 延哉

TEL 072-734-6517

S37卒 奥本 登

京都支部

京都支部では総会・懇親会を年一回、春または秋の土・日曜に開催しています。昨年は11月30日（日）に南禅寺脇の料亭「菊水」で45名の参加を得て開催しました。懇親会に先立って、樋口文彦（S34卒）さんに「お茶室のはなし」と題して講演をいただきました。

今年も秋の開催を予定していますが、日時、場所共に未定です。

当支部では年会費を頂いておりませんので、どなたでも参加して頂けます。案内状を必要とされる方は、遠慮なくお申し出

下さい。

〒624-8362

八幡市男山美桜一―一六

TEL&FAX 075-981-1544

支部長 S28卒 藤原 啓助

近鉄支部

近鉄支部では総会・懇親会を年に一度秋に開催しております。

昨年は十一月一日（土）あやめ館で開催しました。懇親会に先立って、横井章さん（S35卒）に「スポーツ談義」と題してラグビーの国際試合での活躍等の講演をしていただきました。

今年も懇親会は十月十七日（土）十一時から、場所は昨年と同じ「あやめ館」を予定しております。

催し物としては、講師・旭堂南青さんによる「山内一豊」の一席を企画しております。ご期待ください。

近鉄支部は年会費なし、どなたでも参加して頂けます。案内状が必要な方は、お申し出下さればお送りいたします。

今までご参加いただいている方には、九月頃に案内状を送る予定です。

これまで支部長を務めて戴いた織田正利氏（S32卒）が昨年度退任され、新体制となりましたが、これまでと相変わりませず、よろしくお願い申し上げます。

〒630-0133

生駒市あすか野南二丁目一番二番二号

TEL&FAX 0743-78-4847

支部長 S34卒 五十嵐 祥晃

南海支部

南海支部では、毎年一回懇親会を開催しています。

今年も懇親会は、平成二十七年六月七日（日）に北浜にある旧大林ビル二階のルポンドシエルで開催されました。

毎年心ときめく会場を探しています。「非日常の時間を楽しく過ごしていただけ

れば」がコンセプトです。

また、毎年一回法廷傍聴会を開催しています。西天清にある大阪地方裁判所において、刑事裁判の傍聴をしていただき、その後、弁護士による解説及び質疑応答が行われています。

さらに、南海支部ニュースを毎年発行しています。今年で第十六号になります。役立つ情報も入っています。少しでもご興味のある方、お住まいがどこでもご参加いただけます。ご連絡お待ちしております。

（連絡先）

TEL 06-6630-3005

FAX 06-6630-3015

支部長 S49卒 田中 宏幸

阪神支部

今年、阪神支部は四月十二日（日）に宝塚ホテルで総会・懇親会を開催致しました。

若任されたばかりの柴浩司校長先生はじめ、安橋会長、各支部長にご出席頂いて楽しい会になりました。

今回の催しは小川理子さん（S56卒）のジャズピアノコンサート。小川さんはパナソニックのエンジンニアとして数々の業績を挙げられ、今も音響機器ブランド「テクニクス」事業責任者として活躍の傍ら、クラシックジャズのピアノ奏者としても第一線で活躍されている素晴らしい方です。曲の説明をしながら演奏、弾き語りをされ、中でも我がらが校歌をジャズにアレンジした演奏にはびっくり。女学校から延々と続くあのメロディーが、素敵にジャズのピアノ曲として演奏されたのは驚きでした。

フルコースの食事のあと、最後に小川さんの伴奏で校歌を全員で熱唱したのも楽しい思い出となりました。

阪神支部は毎年四月に宝塚ホテルで総会・懇親会を開催しています。年会費なし、どなたでも参加して頂けます。三月には金蘭会のホームページ「WEB金蘭会」に案内を掲載しますので、ご希望の方はご連絡下さい。

（阪神支部連絡先）

TEL&FAX 078-413-6647

支部長 S27卒 升谷 博

TEL&FAX 0798-51-0017

S32卒 真辺 和子

東京支部

東京支部は、中部地方以東、北は北海道まで日本の半分以上を対象地域とし、会員数は2,500名前後です。

年一回の総会は、50歳を迎える学年が幹事を担当するという伝統が引き継がれています。昭和58年卒が幹事の昨年は、7月に「グラントーク半蔵門」にて開催され、173名が出席しました。懇親会では、森正雄さん（S44卒）作成の「過去10年の総会（デイズ・ツー・ホテルミラコスタからリーガロイヤル東京まで）のスライドショー」が上映され、役員同知恵を出し合ったクイズ大会で白熱しました。

今年91回目となる支部総会は、7月5日に飯田橋の「ホテルメトロポリタンエドモント」にて、昭和59年卒が幹事となり開催されます。総会の他それぞれの学年会以外に、金蘭会サロニー子玉会など、学年を超えた集まりもあります。今年度の東京支部会報「金蘭会Tokyo」でも紹介されました。

事務局を銀座にある阪本清支部長（S42卒）の設楽・阪本法律事務所内に置き、役員会、会報の編集会議などを行っています。

支部のホームページにアクセスすれば、支部の情報や会員登録方法などがわかります。学生の方や転勤、単身赴任の方なども大歓迎です。

副支部長 S48卒 竹村 泉



http://kinran-tokyo.in.cocacn.jp/

副支部長 S48卒 竹村 泉

今年OB・OG会だより

☆桐職会(サッカー部OB・OG会)

第十二回OB戦・総会・親睦会を開催！
平成二十六年十月二日(日)、母校にて開催しました。四十五名の現役部員の助けを借り、約八〇名のOB・OGが楽しい時間を過ごしました。また、現役支援としてトレーニングマット二十枚を贈呈するとともに、審判費用や登録費用の一部を本会で負担しました。

東京で第二回OB戦・親睦会を開催！

昨年続き、平成二十七年五月二日(土)、三菱養和調布グラウンドでOB戦を開催しました。晴天の下、八十歳の先輩から今春東京で就職した人まで総勢約四十名が素晴らしいグラウンドでサッカーを楽しみました。新宿での親睦会も大盛り上がりでした。今後、東京支部の創設に向けた具体的な取組みを進めていきますので、関東地区にお住いの方は協力ください。

今年のOB戦は十月二日(日)母校で開催！

今年も母校で開催しますので、是非、ご参加ください。詳細は九月頃、お知らせします。桐職会のブログ「蹴る蹴るボール」やフェイスブックにも掲載しますので一度アクセスしてみてください。

※ご自身ならびに「同輩などの情報提供、お問い合わせなどは左記まで。

吹田市古江台五―三―三三―三〇八

TEL&FAX 06-6832-1987

メールアドレス nogu131@rc.ucom.ne.jp

野口 幸一(S54卒)

☆ラグビー部OB会

「創部七十周年をとおして」

今年一月に荒井昭雄先生を囲む会を開催しました。OB・OG約四十名が参集し、冒頭、計報・献杯の後、試合、練習、山菜館での合宿、荒井先生の名言「男じゃないよ」のエピソードなど同じ釜の飯を食べた者ならではの

話に盛り上がりました。荒井先生は「腰が痛いとほやかれつとも相変わらず風貌で終始笑顔でした。(S61卒柴崎)

四月にOBでもある田中敦夫先生(S55卒)を囲む会、もとい、関西大学北陽中・高の校長就任がきっかけの飲み会がありました。

「ラグビーは厳しく楽しいスポーツ」と指導された世代を中心に約二十名が集まりました。「同じ話を酒の肴にまた集まって飲みましよう」と田中先生の挨拶で閉会。多方面活躍されている方々と話ができて刺激になりました。素晴らしい方々との出会いの道筋をつけてくれた両親に改めて感謝。(S62卒中川)

大手前高校Gで北野との定期戦、OB交流戦、その後金蘭会館にてOB総会が行われました。四十名弱のOBが参加し、幾田先輩(S29卒)の挨拶、新OBへのお祝い、現役部員への激励の言葉を交わし、最後に顧問の岡田先生から現役部員の少なさとその中で頑張っていることの報告、OB会の支援のお礼とその一層充実の期待で閉会。母校Gで楯田球を追いかけて日々の記憶は、幾つになっても、年の差を越えて皆を同じ気持ちにさせます。(S57卒宮野) Facebook「大手前ラグビー部」

1982年卒ラグビー部OB会事務局
宮野洋 ruiyano_rugby@yahoo.co.jp

☆桐柔会(柔道部OB・OG会)

「今年で二回目！」

平成二十七年三月二十二日(日)、第二回総会を行いました。今年も河崎先生、佐藤先生、伊藤先生の三名の顧問の先生方をはじめ、多数の先輩方、そして現役高校生にもご参加頂きました。世代の垣根を越えた交流により新たなつながりが生まれ、内容の濃い素敵な会となりました(写真)

今後桐柔会では以下の日程でOB会を開いて参りますので、より多くの先輩方のご参加宜しくお願ひ申し上げます。



桐柔会の今後のスケジュール

七月十九日(日)：OB練習会(十三時より)
@大手前高校柔道場 懇親会(練習後)

平成二十八年三月十九日(土)：第三回総会
(十六時半より) @ホテル京阪

文責 伊賀本 雅義(S24卒)

連絡先 京田 哲次(S63卒)

TEL 090-9697-6386

☆バレーボール「大手前クラブ」

全国のOB・OGの皆様、左記の要領にて懇親会が予定されていますので、奮ってご参加下さい。ご案内は後日させていただきます。

日時 平成二十七年十月十七日(土)
十二時～十五時(受付十二時三十分)

場所 道頓堀ホテル

大阪市中央区道頓堀二―三―二十五

TEL 06-6630-3005

FAX 06-6630-3015

田中 宏幸(S49卒)

☆美術部OB・OGのつどい

今年も集まります(若人大歓迎！)

美術部OB・OGの皆さま、これまで「馬酔木会」や「空展」など一部の学年をまとめる活動はありましたが、全ての年代を縦につなぐ活動はありませんでした。そこで昨年の有志の企画で母校の文化祭の日に在校生の展示ブースでOB・OGが集まろう！という呼びかけを「大手前だより」などで行った結果、十数名の方が集まって頂き、文化祭当日に開設されている「談話室」で和やかに茶話会を行うことが出来ました。「毎年できたらいね。」という声が多かったのですが、今年も同じ企画を実施させていただきます。

日時 9月6日(日)午前10時30分

◎集合場所 美術部展示スペース

◎集まった方々で一階「談話スペース」に移動して一時間ほどの茶話会を実施致します。近況交歓や美術部のOB・OG会活動についての意見交換などを行いたいと思います。

◎当日集合場所に「美術部OB・OGのつどい」という看板を立ててお待ち致しております。

◎同級生や近隣学年で連絡先のわかる方がいらつしゃいましたら、当日までに情報提供に賛同頂いた上で連絡先(氏名・住所・電話番号・メールアドレスなど)をご持参頂ければ幸いです。

お問い合わせ先 廣瀬 正彦(S54卒)
090-2704-1507
hoobomatsahiko@softbank.jp

☆吹奏楽部創部四十五周年記念演奏会

吹奏楽部は一九七〇年に同好会として発足して以来、今年で四十五年の節目を迎えることに加え、永らく顧問としてご指導頂きました橋本先生の今春のご退職を記念してOB会主催による記念演奏会を開催する運びとなりました。現役生の演奏はもとより、この演奏会のために全国各地から集まったOB・OGによる演奏、さらに現役生・OBによる合同ステージでは「〇〇名近いメンバーでの迫力ある演奏をお届けいたします。懐かしの名曲やポップスなど、吹奏楽に親しみのない方でもお楽しみいただける曲目をご用意しておりますので、皆様お誘いあわせのうえぜひご来場いただき、晩秋のひとつきを吹奏楽の響きとともに過ごしてください。



40周年記念演奏会の集合写真

日時 平成二十七年十一月二十三日(月・祝)
午後1時半開場、2時開演

場所 クレオ大阪中央(地下鉄谷町線
四天王寺前夕陽ヶ丘駅より徒歩3分)入場無料

吹奏楽部OB会ホームページ
http://otemae-ob.pocorijp/

お問い合わせ concert2015@otemae-ob.pocorijp

会費納入にご協力を！

～金蘭会の活動を支えるのは、
みなさまの年会費です～

年会費 2,000円

※卒業後5年間は免除

(今年は平成23年から27年卒業の方)

賛助金 1口2,000円 (何口でも可)

郵便局のATMをご利用頂くと、金蘭会の手数料負担が50円安くなりますのでご協力をお願いします。

「大手前だより」の発行、母校支援(国際交流・文化行事・集中セミナー等)、金蘭会セミナー・パソコンスクール・各種同好会活動の推進、WEB金蘭会の充実、会館の運営促進など、金蘭会は各種の活発な活動を展開しています。

みなさまの積極的なご参加・ご利用をお願いいたしますとともに、同窓会として特色のあるこれらの活動を支えるために、会費の納入にぜひご協力賜りますようお願い申し上げます。

終身会費運用始まる!!

《終身会費の払い込みについて》

1頁にある通り、終身会費の払い込みを希望の方は、同封の振込用紙の通信欄の空欄に、終身会費(50,000円)と記入の上、お振込ください。年会費2,000円は一線で消去し訂正印を押してください。ご不明な点がございましたら、事務局にお問い合わせください。

記入見本

02 大阪	払込取扱票	通常払込料金 加入者負担	払込金受領証
00900000	102063	金蘭会	00900000
金蘭会	金蘭会	金蘭会	金蘭会
平成27年度金蘭会年会費 (2,000円)	2,000		
賛助金 (一口=2,000円)			
金蘭会セミナー (1,000円)			
合計			
受付員印			

下記のようにご記入ください

送金項目	金額
平成27年度金蘭会年会費 (2,000円)	2,000
賛助金 (一口=2,000円)	
金蘭会セミナー (1,000円)	
終身会費	50,000

◇学年同窓会開催サポートご案内◇

1. 対象学年の会員宛名シールの提供…………… 10円/名
2. 対象学年の名簿一覧表(A3判)の提供…………… 100円/枚
3. 金蘭会館(大手前高等学校内)2階ホールの提供……
原則として 火・木・土曜日
昼間(11時～16時)3,000円/回
夜間(17時～20時)5,000円/回

学年代表評議員を通じて金蘭会事務局までお申し込みください。

なお、大手前高等学校卒業後20年目の学年(今年は平成27年卒)については、開催をサポートする趣旨から、左記の料金を無料とします。大いにご活用ください。

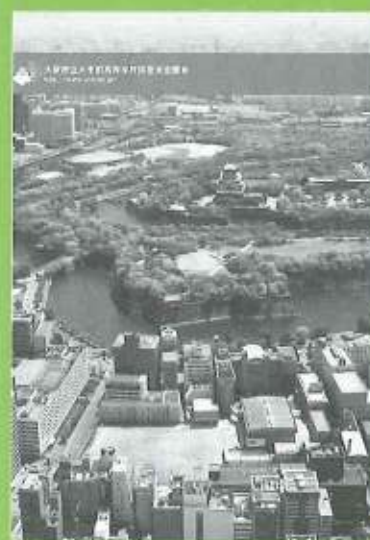
大手前高校同窓会 金蘭会ホームページ

「WEB金蘭会」 <http://kinran.jp/>

大手前高校同窓会 金蘭会事務局

〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-11
TEL: 06-6942-3947
FAX: 06-6942-4124
受付: 原則として火・木曜日
午後1時～4時

転居・改姓・物故の際は事務局へご連絡ください。
各種変更届、学年会・クラブOB会などの情報掲載希望、ご質問、ご相談、ご意見等、ホームページTOPページ左のメニューからも受け付けております。



金蘭会オリジナルクリアファイル販売中
単価100円 但し10部単位で販売(送料無料)

お申し込みは事務局まで

●編●集●後●記●

二期六年間にわたって会長を務められた安橋興二郎氏が退任されました。周年行事を含む諸活動はむしろ、諸規約・制度の改善改革など、金蘭会の基盤強化をさせていただいた中興の祖です。ここに、心から賛辞とお礼とを申し上げたいと思います。今後とも理事としてよろしくご指導願います。
広報も、会員の皆様と金蘭会との連絡が取りやすい工夫をしております。来年は母校二〇周年・金蘭会二五周年です。会費の振り込みにぜひご協力をお願いします。

(大鍛治)



封筒に印刷された
QRコードをスマート
フォンで読み取り、HPの住所
変更等のフォームにアクセス
が可能です。

(QRコードは特許アンソウウェブの登録商標です)

訂正とお詫び

● 1 頁に掲載の「歴史を振り返る」の記事の内、一部誤りがありましたので、訂正のうえお詫び申し上げます。

【誤】(4行目)「大阪府立大手前女学校」→【正】「大阪府立大手前高等女学校」

【誤】(6行目)「府立北野高等学校」→【正】「府立北野中学校(現府立北野高等学校)」

● 11 頁に掲載の「母校支援委員会」の記事の内、海外研修派遣および英国ペングライス校との交流について、以下のとおり予定が大幅に変更になっておりますので、訂正のうえお詫び申し上げます。

【誤】「海外派遣の支援は、米国スタンフォード大学に、7月27日～8月3日の八日間、10名を派遣する」→【正】「海外派遣の支援は、アメリカ・カリフォルニア研修に、7月27日～8月2日の七日間、7名を派遣する」

【誤】「英国ペングライス校との交流は、本年は派遣の年に当り、7月10日～7月17日の八日間」→【正】「英国ペングライス校との交流は、本年は派遣の年に当り、7月4日～7月18日の十五日間」